

## ダイワ・インド株式オープン – ガンジスの恵み – 最近の運用状況と今後の見通しについて

2016年12月22日

### ■ 足元のパフォーマンス推移

株式市場は高額紙幣回収発表後、当初は急落したものの、その後は落ち着きを取り戻し、足元ではやや反発しています。為替市況については円安が進んだことと予想されていたインド準備銀行（中央銀行）による利下げが行われなかったことから対円でインド・ルピーは上昇しました。為替の上昇が株価の下落を上回ったため基準価額は上昇しました。

### ■ 高額紙幣回収のインド経済への影響

モディ首相は非合法経済活動の撲滅を目指して11月8日（現地、以下同様）に500ルピー札と1,000ルピー札の回収を発表し、即日使用停止としました。1ルピーは1.7円程度ですので、紙幣はそれぞれ850円程度と1,700円程度で、市中に流通している紙幣額の86%を占めていました。回収対象紙幣は12月30日までの間、銀行に預金する、または新紙幣を含む使用可能な紙幣と交換することができ、それを過ぎるとインド準備銀行のみで交換可能となります。12月6日までに回収対象紙幣の78%が銀行に預金されました。政府は偽造の難しい新しい500ルピー札と2,000ルピー札を発行していますが、12月7日までに旧紙幣の29%分（金額ベース）が供給されたと考えられます。

インドは現金決済の比率が依然として高いため当初1週間ほど経済活動が実質的に停止しましたが、その後は新紙幣の流通により事態は改善しています。今回の紙幣回収により汚職や脱税、紙幣偽造、非合法経済活動の減少が予想され、中期的には経済成長にプラスの効果があるとみています。これまで銀行口座を持っていなかった国民による銀行利用は、インド経済の生産性の向上にもつながります。

### ■ 高額紙幣回収に関連した投資見通し

経済ファンダメンタルズに変化はなく高い経済成長率は持続する見込みです。今回の紙幣回収を契機にした銀行口座の利用促進と非現金決済への移行は零細企業の淘汰（とうた）を促し、零細企業と競合している中小型株にとっては市場シェアを拡大するチャンスです。上場企業の投資対象としての魅力度は増すとみています。

### 基準価額の推移



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。  
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

### 新紙幣（上2つ）と回収された高額紙幣（下）



(出所：大和投資信託)

### インド株価指数とインド・ルピー円相場の推移



(出所：ブルームバーグ、大和投資信託)

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身で判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

## ダイワ・インド株式オープン – ガンジスの恵み –

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### ファンドの目的・特色

#### ファンドの目的

- インド企業の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。

#### ファンドの特色

1. インド経済の構造変化の中で高い成長が期待できるインド企業の株式<sup>(注)</sup>に投資します。  
(注)「株式」…DR（預託証券）を含みます。
    - 銘柄の選定にあたっては、中長期的な成長性を判断するため、業界動向、個別企業の競争力、経営戦略、技術力等に着目します。
    - ポートフォリオの構築にあたっては、幅広い投資機会の獲得をめざし、業種、企業規模の分散を図ります。
  2. インド企業の株式の運用の一部は、SBI Funds Management Private Limited の助言を受け、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドが行ないます。
  3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
    - ・マザーファンドは、「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

### 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

## ダイワ・インド株式オープン – ガンジスの恵み –

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.24% (税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.8144% (税抜 1.68%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

## 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡する「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和投資信託** フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

当社ホームページ

▶ <http://www.daiwa-am.co.jp/>

販売会社:

**大和証券**

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

**大和投資信託**

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会